

8inch 2in1 miniPC

取扱説明書

User Manual

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告無しに変更することがあります。
- 製品改良の為、予告無く外観または仕様を変更することがあります。

免責事項

- 火災、地震、その他天災、有事（戦争、テロ等）による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他当社推奨条件下以外での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証が全てであり、その保証以外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせ、相性による誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故等発生した場合、当社は一切責任を負いません。

安全にご使用いただくために

《警告》

歩きながらの御使用や、振動の多い場所、傾いた所などの不安定な場所での保管、御使用はお控えください。本製品が落下して、けが、故障の原因になります。

梱包に使用している袋類やケーブルをまとめるビニタイは、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、ケガや窒息の原因になります。

本製品を風通しの悪い場所や、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所での御使用、保管はお控えください。火災の原因となることがあります。

矩形波が出力される機器（UPS [無停電電源装置]）や車載用 AC 電源などに接続はお控えください。火災の原因となることがあります。

付属品もしくは指定された規格以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に御使用いただくことはお控えください。故障、感電、火災の原因になることがあります。

電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V ～ 240V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ正しく接続してください。

接続部分に隙間があるなど不完全な接続状態で使用すると、故障、感電、火災の原因になることがあります。

濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタの抜き差しはお控えください。感電の原因になることがあります。

ケーブル類を束ねた状態での御使用はお控えください。発熱して、火災の原因になることがあります。

《注意》

本製品を調理台や加湿器、お風呂場、温泉などの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などでの御使用、保管はお控えください。故障、感電、

火災の原因になることがあります。

本製品や AC アダプタを直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような高温になりえる暖房器具の間近や、ホットカーペットへの直置きでの御使用、保管はお控えください。感電、火災、故障の原因となります。

使用時

《警告》

焚き火などの火中への投入、加熱はしないでください。発煙、発火、破裂の原因になります。

ケーブル接続口などの端子にヘアピン等の金属を差し込んだりして、ショートさせないでください。感電、火災、ケガの原因となります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに使用を中止し、電源プラグや USB ケーブル等の接続を解除してください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

本製品が破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、押し込んだりしないでください。

感電、火災の原因となります。

放熱機能部分や充電中の AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる箇所に長時間直接触れないでください。低温やけどの原因となります。

本製品は防水加工が施されておりません。

お風呂場やシャワー室、温泉など、水のかかる恐れのある場所での御使用、保管はお控えください。故障、感電、火災の原因となります。

使用中の本製品や AC アダプタは熱を帯びますので、ふとんや布などを掛けたり、ネコ等の体温の高いペットの下敷きにしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

AC アダプタ本体や、ケーブルが破損、変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因となります。

AC アダプタ本体を分解したり、落下・投げつけたり等強い衝撃を与えないでください。変形、内部の基板破損、故障、感電、火災の原因となります。

自転車、バイク、自動車、キックボードなどを運転中に本製品を使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。安全な所に止めてからお使いください。

歩行中に本製品を使用しないでください。駅のホームや道路などで歩きながら本製品を使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。安全な場所で立ち止まってからお使いください。

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障、感電、火災の原因となります。

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因となります。

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。ケーブル類が断線し、感電、火災の原因となります。

無線 LAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。

・病院内や医療用電子機器のある場所

特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。

・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所

・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く

・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所

・満員電車の中など付近（15cm）に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

《注意》

本製品の上に鉄アレイなど過度な重量が掛かる重いものを置かないでください。故障、けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。

・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。

・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となります。

「Micro SD カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用后十分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。やけどの原因となります。

メンテナンス／増設

《警告》

お客様ご自身で分解、修理、改造しないでください。故障、けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障や火災の原因となります。

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に 1 度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。故障、感電、火災の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、故障、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。

異常時

《警告》

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物

が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、故障、感電、火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による故障、感電、火災の原因となります。

液晶ディスプレイにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止してください。そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、患部をこすらず水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。失明など障害の原因となります。液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因となります。

《注意》

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄

《注意》

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いて保管してください。

故障、火災の原因になります。

.....

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品はリチウム電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。不要になった製品の廃棄については、御住まいの各地域の廃棄方法に準じて、処分をお願い致します。

取り扱い上のご注意

本製品の使用環境についての注意

本製品は精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。
取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。
内容をよくご理解の上、注意してお取り扱いください。

■ 本製品をお使いになる使用環境温度

次の範囲内としてください。

動作時：温度：5℃～35℃ 湿度：20%～80% ※ただし結露させないこと。

■ 製品の結露

- ・動作時、非動作時にかかわらず、製品本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。

製品を温度の低い場所から温度の高い場所、逆に、温度の高い場所から温度の低い場所などの気温差の激しい環境へ移動すると、製品内部に結露が発生する場合があります。

結露が発生したまま製品を使用すると故障の原因となります。

該当する環境で製品を移動した場合は、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

無線通信機能をお使いになる場所

- ・製品本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
- ・お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります。

本製品の取り扱いについての注意

■ 製品本体の取り扱い上の注意

- ・心臓ペースメーカーや磁気カードなど、磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。故障やデータ消失などのおそれがあります。

■ 製品の温度上昇に関して

- ・長時間使用すると、製品表面の温度が上昇して、温かく感じる場合がありますが、故障ではありません。これは、製品内部の温度が一定以上になると、装置から放熱するためです。
- ・製品の表面、裏面は熱くなります。長時間触れたままにすると、低温やけどの原因になります。
- ・製品本体およびACアダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。

■ 本製品を持ち運ぶ場合の注意

- ・ 製品本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
- ・ 製品本体を持ち上げたり移動させたりするときは、落としたりしないように、製品本体をしっかりと掴んでください。
- ・ 製品本体に無理な力がかかったり、強い衝撃が伝わったりしないように、かばんなどに入れてください。
- ・ 液晶ディスプレイの傷や破損にご注意ください。
- ・ 製品本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- ・ 自転車やバイクのカゴなどに製品本体を直接載せて運ばないでください。
衝撃や振動により故障するおそれがあります。また、落下などにより、けがや故障の原因となります。

■ 液晶ディスプレイ・キーボードの取り扱い上の注意

- ・ 液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、引っかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
- ・ 表示面・裏面にかかわらず、液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- ・ 液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・ 水洗いはできません。
水に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭いてください。
- ・ ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤や家庭用洗剤・化学ぞうきんは、製品材質の変質、変色するおそれがありますので、使用しないでください。
- ・ 液晶ディスプレイとキーボードの間に、物をはさまないでください。
- ・ キーボードのすきまから金属片や針金などを差し込まないでください。
感電するおそれがあります。また、内部の部品がショートしてキーボードやコンピュータ本体の故障の原因となるばかりではなく、発火のおそれがあります。

同梱品一覧

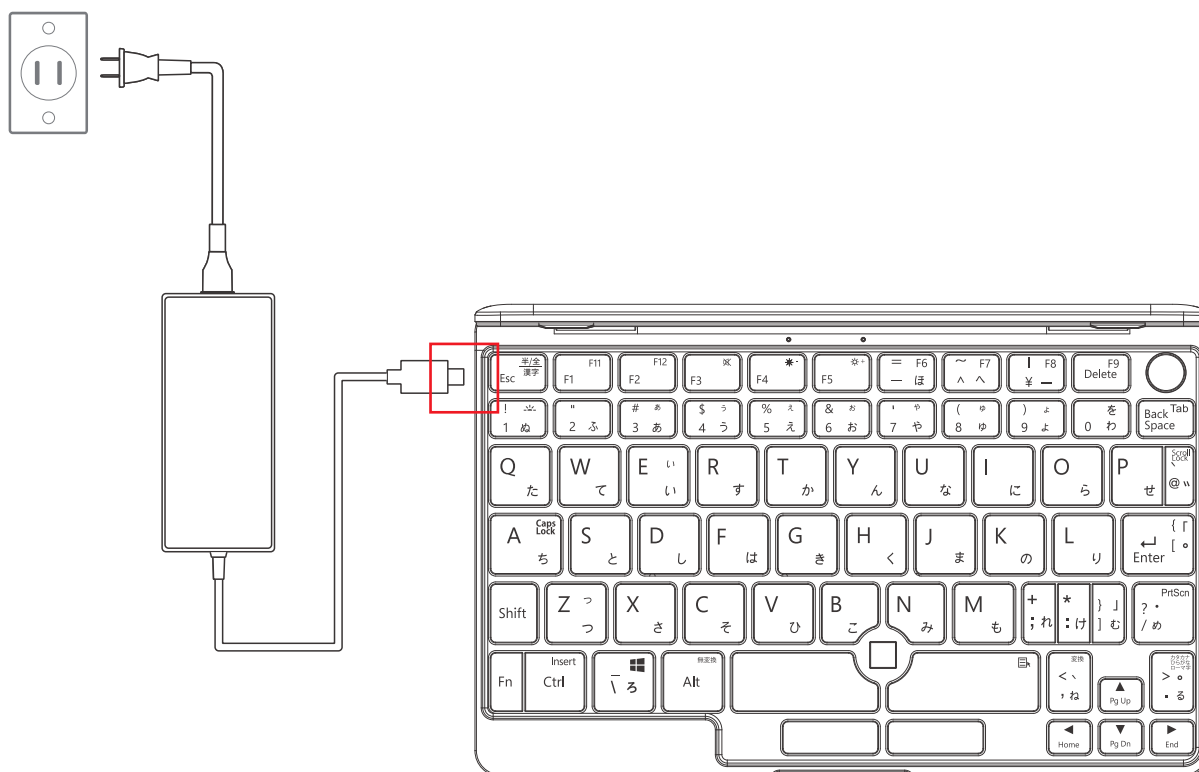
お使いになる前に梱包内容、製品各部の名称、製品仕様をご確認ください。万が一、不足しているものがあれば、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- ・ PC本体
- ・ ACアダプター
- ・ 保証書
- ・ キーボード用不織布
- ・ 本体用保護袋

はじめて使用するときに行う設定

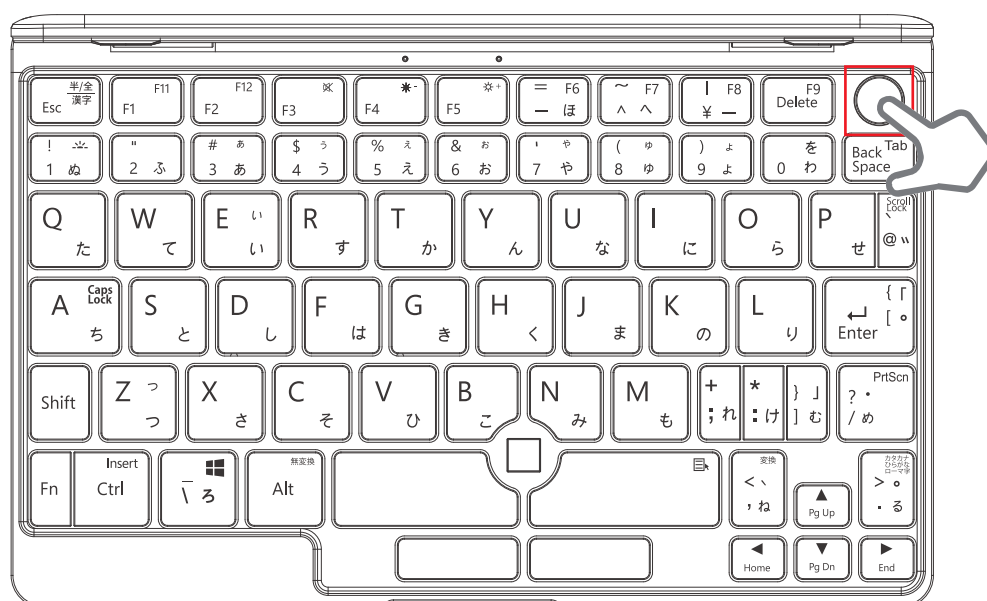
1. 電源を入れる

AC アダプタをPC 本体に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。



2. 電源のON/OFF は、電源ボタンを数秒（2～3 秒間）押します。

電源が入りましたらOSの指示に従い初期セットアップを行ってください。



初期化する

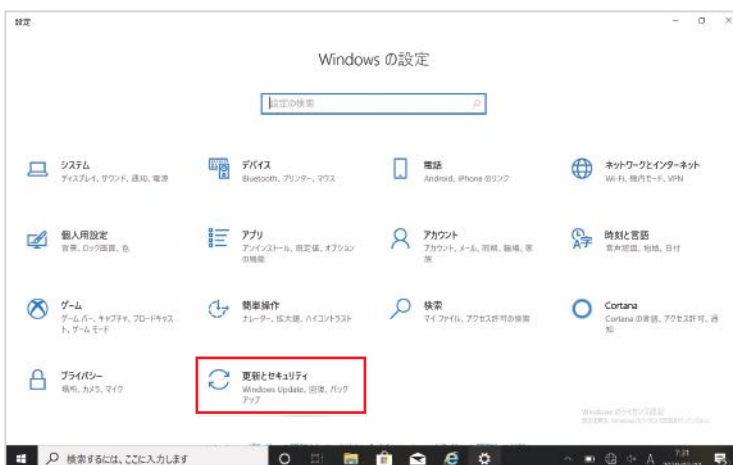
【ご注意】

初期化すると以下の通りデータが削除されます。

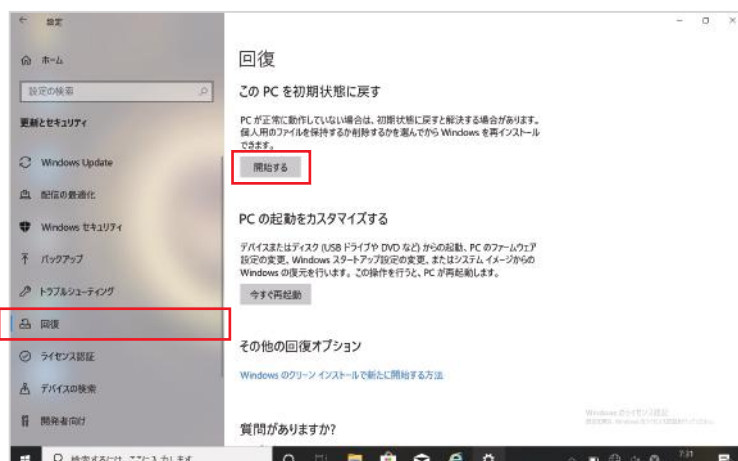
- ・ [個人用ファイルを保持する] を選択した場合、アプリと設定を削除。（個人用ファイルは削除されません。）
- ・ [すべて削除する] を選択した場合は、アプリと設定と個人用ファイルの全てを削除。



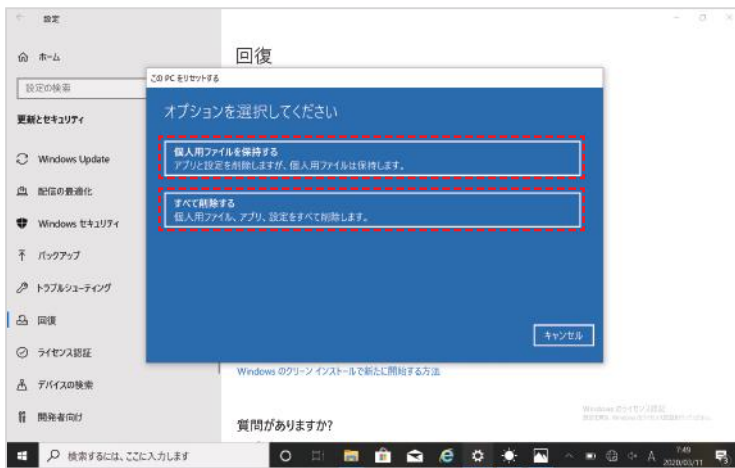
1. ホーム画面で[] ボタンをクリックし、[設定 ] をクリックします。



2. [更新とセキュリティ ] をクリックします。



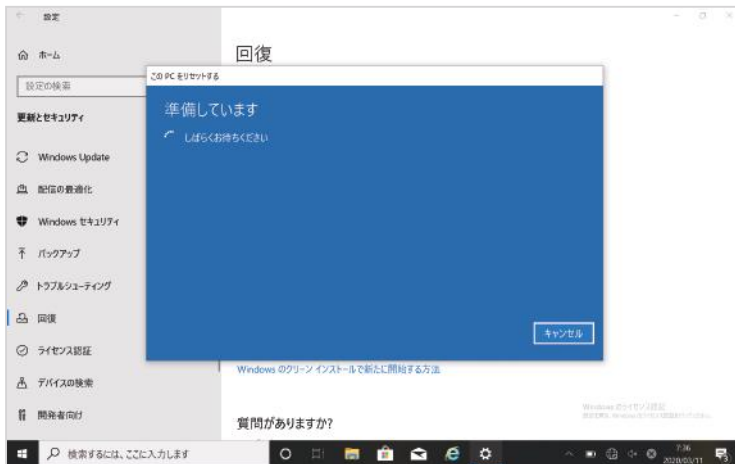
3. [回復 ] をクリックします。
[このPCを初期状態に戻す] の [開始する] をクリックします。



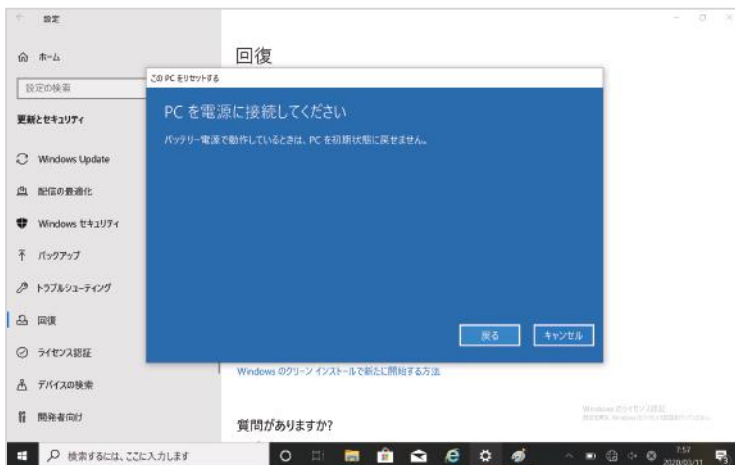
4. 初期設定のオプションを選択し、クリックします。

[個人用ファイルを保持する]の場合…
アプリと設定を削除しますが、個人用ファイルは保持します。（個人用ファイルは削除されません。）

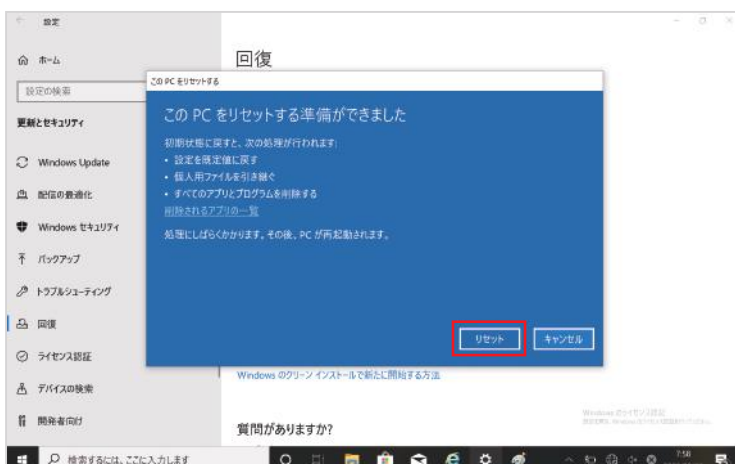
[すべて削除する]の場合…
アプリと設定と個人用ファイルの全てを削除します。



5. [準備しています]が表示されますので、そのままお待ちください。



※ PC へ電源の供給がされていない場合は[PCを電源に接続してください]と表示されますので、PC へ付属のAC アダプターを差し込み電源の供給を行ってください。



6. [このPC をリセットする準備が出来ました]が表示されますので、[リセット]をクリックします。リセットの処理には時間が掛かる場合があります。電源を切らずに処理が終わるまでそのままお待ちください。

BIOS 設定

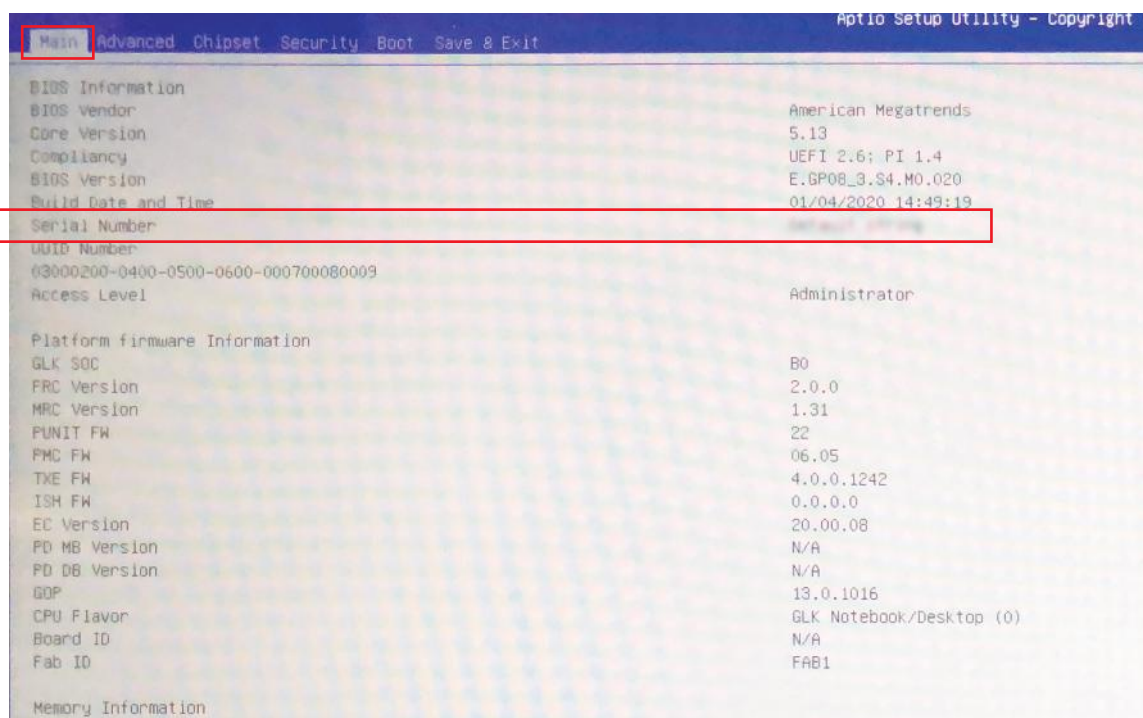
メイン設定の確認方法

1. 電源を入れた後に、「Delete」キーを数秒（2～3秒間）押します。



2. 「BIOS」のMain設定画面が表示されます。

下記赤枠内はSerial Number（製品製造番号）です。製品の修理依頼の際、製品製造番号をお聞きすることがあります。

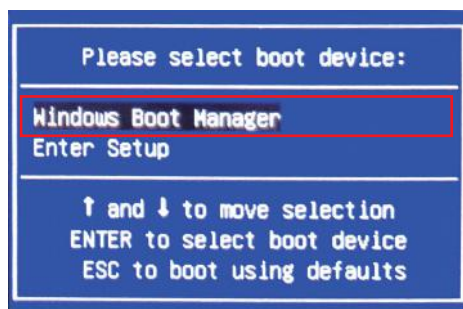


起動デバイスからの起動方法

1. 電源を入れた後に、「Fn」 + 「^」キー（F7）を数秒（2～3秒）押します。

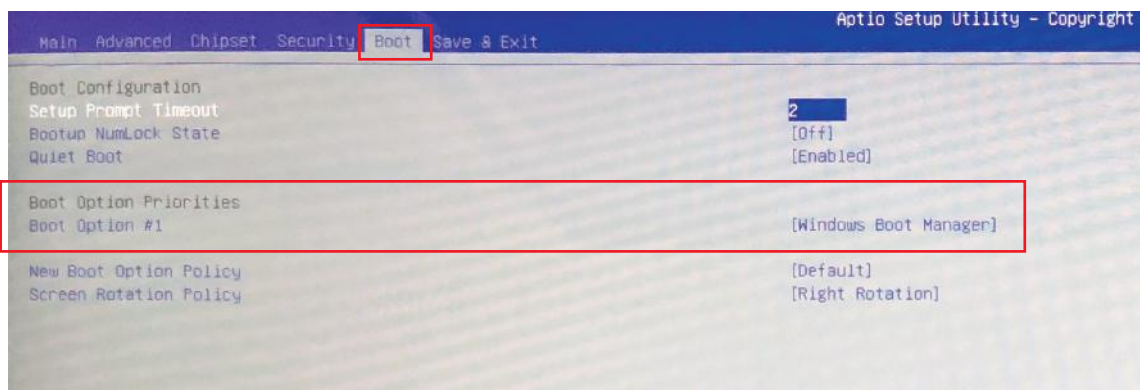


2. 希望の起動デバイスを選択して、「Enter」キーを押します。その後、選択したデバイスが起動されます。

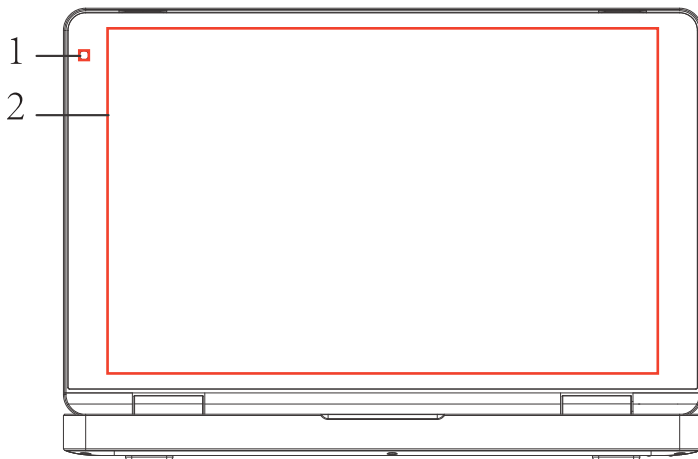


接続しているデバイス
が表示されます。

3. 前頁の「BIOS設定」からでも、Boot設定画面のBoot Option Prioritiesから起動デバイスの設定をすることができます。



本体説明



1. カメラ

2. 液晶画面(タッチスクリーン)

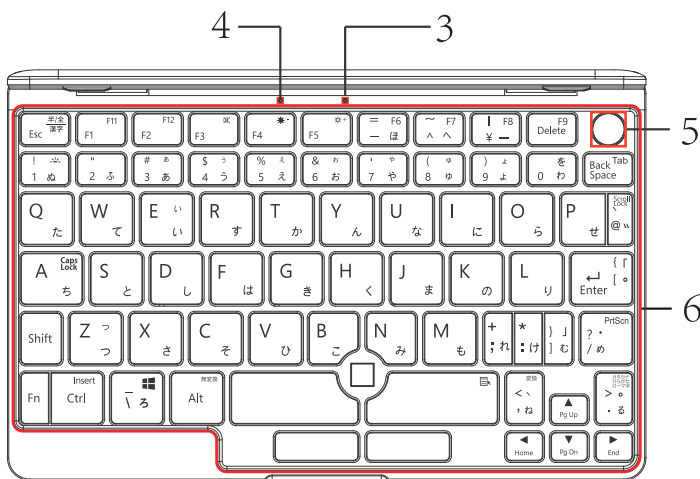
※ 液晶画面を360度開くことで、タブレットモードとして使用することができます。

3. 電源ランプ

※ 電源ONの時、青色に点灯します。

4. CapsLockランプ(大文字モード)

※ CapsLockがONの時、青色に点灯します。
解除する場合は「Fn」+「Shift」+「A (CapsLock)」を同時に押します。

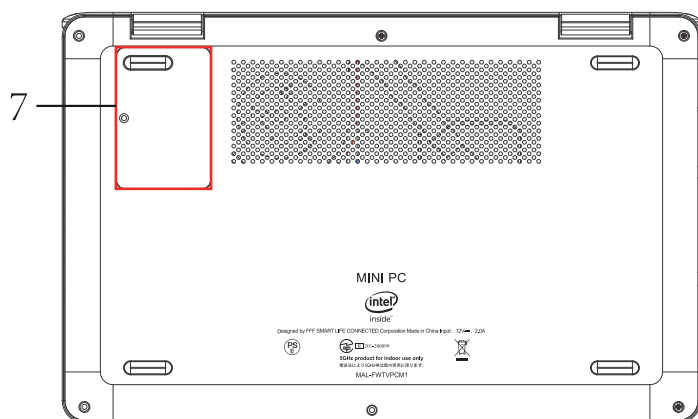


5. 電源ボタン/指紋センサー

※ 電源投入は電源ボタンを2秒程長押しします。(起動中に電源ボタンを2秒程押すとスリープモードに移行しますが、Windows10の設定で変更可能です。)

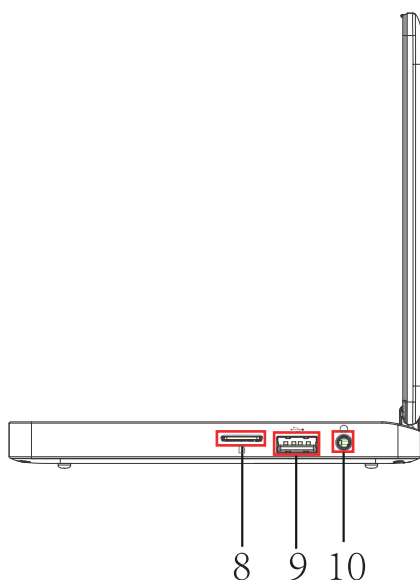
※ 指紋センサーをご使用の場合は、Windows10の設定でWindows Helloの設定が必要です。

6. キーボード



7. 拡張用スロットカバー

※ M.2 (2242 SATA対応) に対応したSSDが装着可能です。(拡張はお客様ご自身の責任で行ってください。拡張時にお客様の不注意(静電気等)で故障した場合は、保証対象外になります。)



8. MicroSDカードスロット

※ 次ページの「使用時のご案内」をご確認ください。

9. USB2.0ポート(黒色コネクター)

10.ヘッドホン/イヤホンポート

11.USB TYPE-Cポート

※ 本製品を充電する場合、付属のACアダプターをご使用ください。付属品以外のACアダプターをご使用されますと故障することがあります。(その際の故障は保証対象外になります)

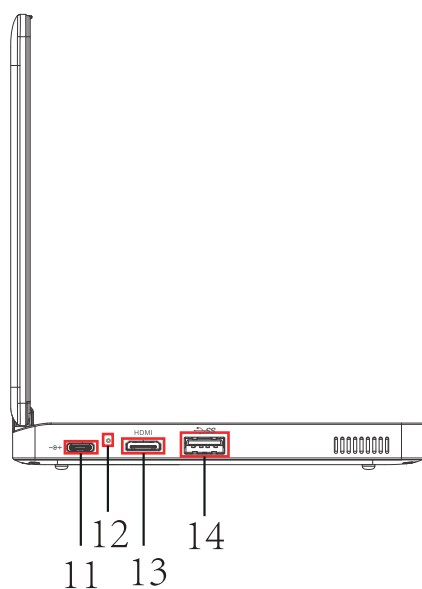
12. 充電ランプ

※ 充電中は赤、充電完了時は青に点灯。充電していない時は消灯します。

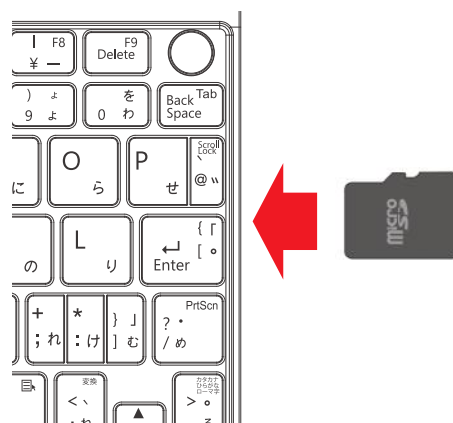
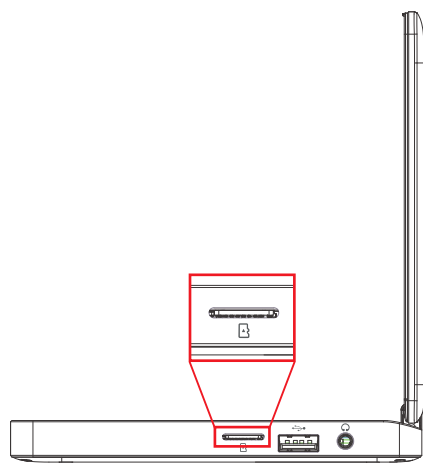
13. mini HDMIポート

14. USB3.0ポート(青色コネクター)

※ USB2.0対応機器も接続可能になります。



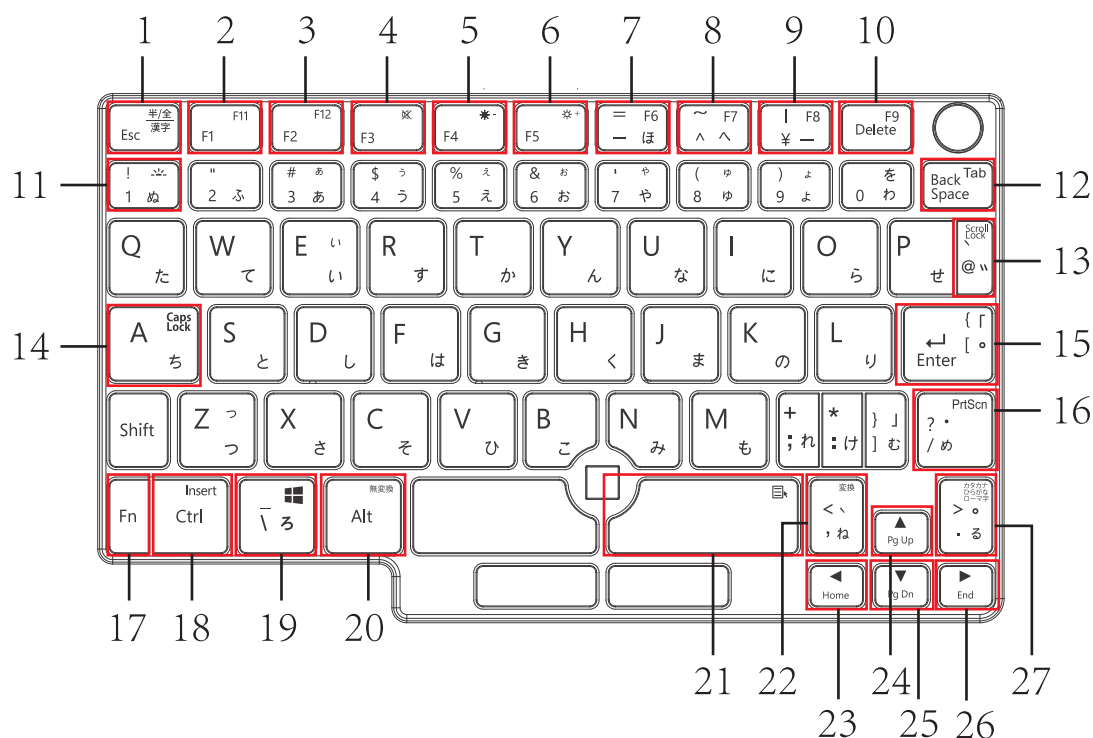
■使用時のご案内■ Micro SD カードスロットの差し込み方



1. 上記図の箇所がMicro SD カード差し込み口となります。

2. Micro SD カードの金色の接触面を下に向けて、上記図の通りにMicro SD カードをカチッと音がするまで矢印方向にまっすぐゆっくりと差し込みます。

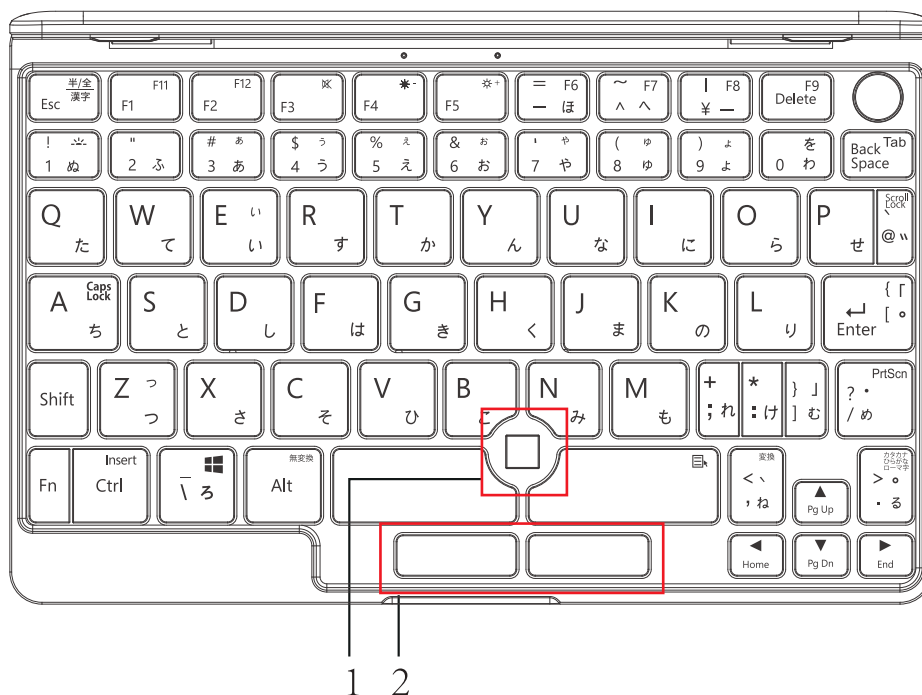
Fn (ファンクションキー) 入力時の各キーの操作説明



1. 「Fn」 + 「Esc」 「半角/全角」キー
2. 「Fn」 + 「F1」 「F11」キー※
3. 「Fn」 + 「F2」 「F12」キー※
4. 「Fn」 + 「F3」 ミュート(消音)操作になります。※再度押すと解除。
5. 「Fn」 + 「F4」 画面の明るさが下がります。
6. 「Fn」 + 「F5」 画面の明るさが上がります。
7. 「Fn」 + 「F6」 「F6」キー※
8. 「Fn」 + 「F7」 「F7」キー※
9. 「Fn」 + 「F8」 「F8」キー※
10. 「Fn」 + 「Delete」 「F9」キー※
11. 「Fn」 + 「1」 キーボードのバックライトを点灯します。※再度押すと消灯。
12. 「Fn」 + 「Back Space」 「Tab」キー
13. 「Fn」 + 「@」 「Scroll Lock」キー
14. 「Fn」 + 「Shift」 + 「A」 Caps Lockが有効になります。※再度押すと解除。
15. 「Fn」 + 「Enter」 「「」」キー(ローマ字入力時)
- 「Fn」 + 「Shift」 + 「Enter」 「{ }」キー(ローマ字入力時)
16. 「Fn」 + 「/」 「Prt Scn [Print Screen]」キー
17. 「Fn」 「ファンクション」キー
18. 「Fn」 + 「Ctrl」 「Insert」キー
19. 「Fn」 + 「\」 「Windows」キー
20. 「Fn」 + 「Alt」 「無変換」キー
21. 「Fn」 + スペースキー(右) 「アプリケーション」キー
22. 「Fn」 + 「,」 「変換」キー
23. 「Fn」 + 「◀」 「Home」キー
24. 「Fn」 + 「▲」 「PgUp」キー
25. 「Fn」 + 「▼」 「PgDn」キー
26. 「Fn」 + 「▶」 「End」キー
27. 「Fn」 + 「.」 「カタカナ/ひらがな/ローマ字」キー

※ 箇所：アプリケーションによって機能が異なります。詳細は各アプリケーションのソフトウェアへお問い合わせください。

OFN（オプティカル・フィンガー・ナビゲーション）センサーの操作説明



1. OFNセンサー

■ マウスカーソル操作

センサー上に指を1本置き、スライドさせると画面上のマウスカーソルがスライドの動きに合わせて動きます。

■ 左クリック

センサー上で「トン」と1回押すと左クリック判定になります。2回押すとダブルクリック判定になります。

2. マウスボタン

それぞれ左クリック、右クリックに対応しています。

memo

[illegible]



R 201-200099

電波法により5GHz帯は屋内使用に限ります。

第 1 版 (2020.04)